

最強グマ・ダイキチ！13年連続ボス就任

飼育員は見たべあ！

のぼりべつ
クマ牧場通信
98号

2025年
8月1日

発行

のぼりべつ
クマ牧場
動物課



今年もボスの座に輝いたダイキチ

今年も、オスグマのいる第一牧場のボスを決める季節になりました。飼育員が第一牧場のオスの様子を観察し、誰がボスにふさわしいか選抜しました。

気になる結果は：「ダイキチ」が今年もボスに選ばれました！これで13年連続でボスに就任し、更新中の歴代最高記録を更に塗り替えました。今回も背こすり(繁殖期のヒグマに多く見られるマーキング行動の一種)による背部の脱毛範囲が一番大きいことが確認され、これが決定打となりました。

ライバルのマンタロウがダイキチに果敢に挑む様子もありましたが、ダイキチは冷静に対応し、威嚇のみで場を収める様子が見られるなど、ボスの威厳が感じられる場面が多くありました。ダイキチが13年連続ボスの座に就いているので、他個体もその実力を認めているのか、今年は第一牧場での喧嘩は比較的少なく、平和な日常が続いています。

そんなダイキチも今年で19歳になりました。血気盛んな10代前半の時より年齢を重ねて大人の余裕が出てきました。最近の牧場での過ごし方は、双子のナツツと日向ぼっこをしていることが多く見られます。年齢を重ねていくと行動も穏やかになつていくのかもしれない。

これからも第一牧場のボスとしてダイキチの姿を温かく見守っていただけだと思います。そして第一牧場に訪れた際にはぜひダイキチを探してみてくださいね。

教えて!!

Q & A

○ペンネーム 匿名希望 様

Q クマは雪の上で寝ていても風邪を引かないのか

A 雪の冷たさで風邪を引くことはありません。ヒグマの体毛は夏と冬で生え変わります。冬毛は表面の長い毛と内面の縮れた綿毛の二層構造になっており、毛と毛の間に空気をためて熱を逃がさないようにしています。私達が着るダウンジャケットのような役割です。また、秋になると餌をたくさん食べ、皮膚の下や内臓に脂肪を蓄えます。厚い脂肪も冷たさから身を守るのに役立っています。夏はスリムな体型ですが、秋には腰や首のくびれがなくなるほど丸い体型に変化します。あまりの変化に「このクマ誰だ?」となることもあります。



雪の上で横になるコタ

ロウ=3月10日

子グマの体重測定のアレコレ



突然ですが子グマの体重測定はどのように行っているか皆さんご存知でしょうか。

のぼりべつクマ牧場では10キロ前後までは吊り下げ式のはかりに子グマをぶら下げて体重測定を行っていますが、身体が大きくなってくると吊り下げた状態でも地面に足がついてしまうようになります。そのため、子グマを抱えて体重計に乗り、飼育員分の体重を引き算する方法で体重測定を行っています。



子グマの体重測定に使用している吊り下げ式のはかり

そして、どの体重測定の際の方でもまず子グマを「保定」(動物が暴れないようにおさえておくこと)する

ところから始まるのですが、これがものすごく大変です。小さくても相手はクマなので走るのも早く、腕力も噛む力も非常に強いです。さらに子グマにも大きなストレスがかかってしまいます。

そこで、最近は丸太を使用した吊り下げ式の台座を作って、そこに子グマが自分から乗ってくれるように練習をしています。飼育員も子グマも安全に体重測定ができるようになるまで飼育員の奮闘は続きます。



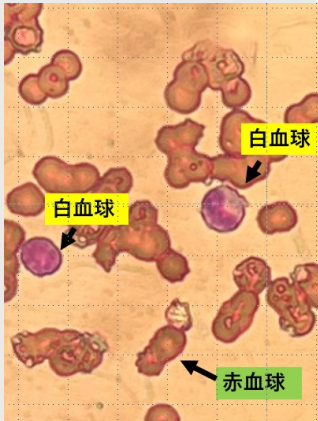
吊り下げ台座に興味を示すルカ
=7月19日

顕微鏡の世界



顕微鏡を使って見える世界をご存知ですか？今日はクマ牧場で獣医として働く私が見ている世界を少しだけ紹介します。

実際に血液を覗いてみると色々な種類の細胞があります。この細胞たちはだいたい0.01ミリくらいなので、自分の目だけでは見えません。一番多いのが赤血球で、まん丸で細胞全体が同じ色味をしています。ほかには白血球たちがいます。白血球には色々な種類がありますが、丸い細胞の中に濃い紫色にみえる「核」があります。核の形や大きさが白血球の種類を区別することができます。この白血球たちは細菌などの病原体からの攻撃より身を守るため必死に働いてくれています。こんな小さい細胞(0.01ミリ)が大きなヒグマたち(2.5メートル)の健康を守ってくれているなんて、不思議なことだなと思います。白血球さん、クマ牧場のクマたちを病気から守ってくれてありがとう！



顕微鏡で観察したクマの血液

ボスグマコーナー

リニューアル

お客様からの熱い反響を受けて、ヒグマ博物館内の「歴代ボスグマコーナー」をリニューアルいたしました。

歴代のボスグマたちの写真をまるで任侠映画のような面白おかしい紹介文と共に展示しています。

ボスグマの歴史は1964年に就任したタロウから始まり、現ボスのダイキチまで脈々と受け継がれてきました。クマ牧場の歴史ともいえる非常に重要な存在です。

また、今回のリニューアルでは、ボスグマの写真の枠を金色にするなど、展示写真のグレードアップを行い、より一層、ボスグマの威厳と歴史を感じていただける仕上がりとなっております。

ぜひ実際にご覧いただき、ボスグマの歩んできた歴史に触れていただければ幸いです。



新しくなったヒグマ博物館内のボスグマ紹介コーナー

今月の一筆

くま

暑い日は

池の中で

過ごしがち

